

2018 年度事業計画

I. こども・若者未来基金について

- ・ちばこどもおうえんだんに参加する生活協同組合や労働組合等を中心に、県内事業者・県民の皆さんからの賛同を得て基金を醸成し、金銭的な援助を継続します。
- ・自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設など、すでにある社会資源とつながる伴走者のある子ども若者を、伴走者（支援者）ともに支援していきます。
- ・こども・若者未来基金の寄付募集目標は、10,000,000 円とします。
- ・11～12 月をキャンペーン月間として、集中して寄付を呼びかけます。
- ・キャンペーン月間にさきがけ、9 月 10 月にシンポジウムを 2 回開催します。
- ・こども・若者未来基金が周知されるよう、児童養護施設等へ向けて情報発信を積極的に行います。
- ・中間的就労を含めた就労支援、定着支援について、検討します。

II. 貧困家庭など、家庭に課題を持つ子どもの支援事業

- ・生活クラブ風の村が千葉県より事業受託しているアフターケア事業 CANS（ちばアフターケアネットワークステーション）の事務局の一部を受託します。
- ・ちば子ども虐待防止連絡会（通称 JasPCAN ちば）（2017 年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体）等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
- ・千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、「こどもおうえん広場&オレンジリボンキャンペーン」を開催します。

III. 里親家庭支援について

- ・ちばこどもおうえんだんは、千葉県の里親支援機関として位置づけられています。また、里親家庭の支援については、設立趣旨でも謳っています。これまで不足していた里親家庭への支援を充実させ、社会的な認知度を増すこと社会的養護を受ける子どもたちの健やかな成長に繋がっていきます。これまでの「千葉市里親制度推進事業」受託の経験を活かし、今後は千葉市内だけでなく、県内全体も視野にいれ里親家庭支援を検討します。
- ・2017 年度まで行ってきた里親家庭への支援事業の中で、可能なものは継続していきます。

IV. 特別養子縁組などについて

- ・特別養子縁組の普及啓発について、特定非営利活動法人ベビーブリッジ等の団体と連携します。

V. 啓発・広報事業について

1. 啓発事業

- ・社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。
- ・児童虐待防止に関する啓発活動を行います。

2. 広報事業

- ・ニュースレターや web を通じて、会の活動や情報を社会へ広く伝えます。

VI. 調査研究活動事業

- ・社会的養護や里親制度の課題やニーズについて、調査研究をします。

VII. その他

- ・児童養護施設でのプログラム実施を想定し、「ことばキャンプ」のインストラクター養成講座に参加します。

VIII. 組織運営

1. 運営体制

- ・事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年 5 回

こども・若者未来基金運営委員会：おおむね 2 月に 1 回程度

2. 会員拡大について

- ・団体リーフレットをリニューアルし、上期を中心に会員拡大を目指します。
- ・おうえん会員（賛助会員）を増やして、共感の輪を広げます。

【目標数】

会員種別		目標（人数・団体数）	目標（口数）
運営会員	個人	14 人	14 口
	団体	4 団体	34 口
おうえん会員	個人	120 人	120 口
	団体	15 団体	29 口